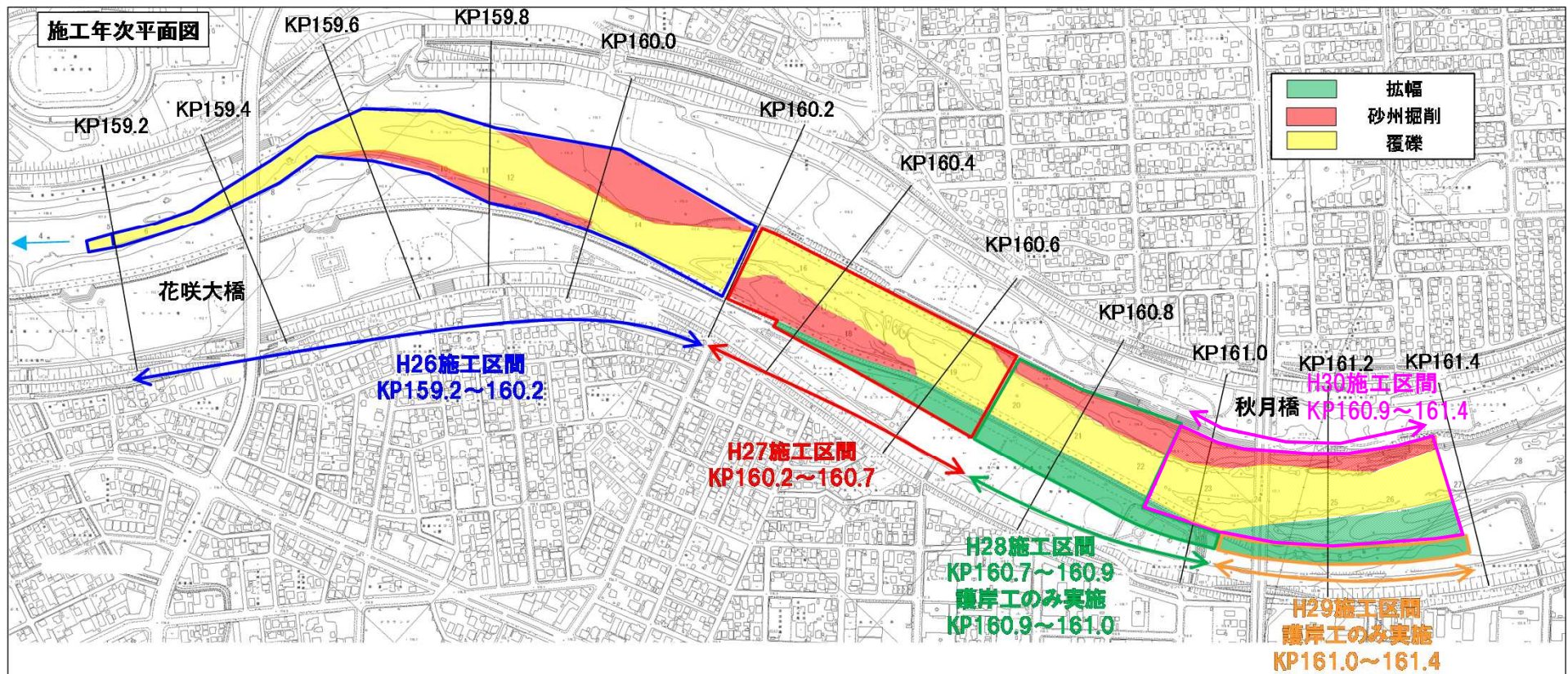


現地視察資料

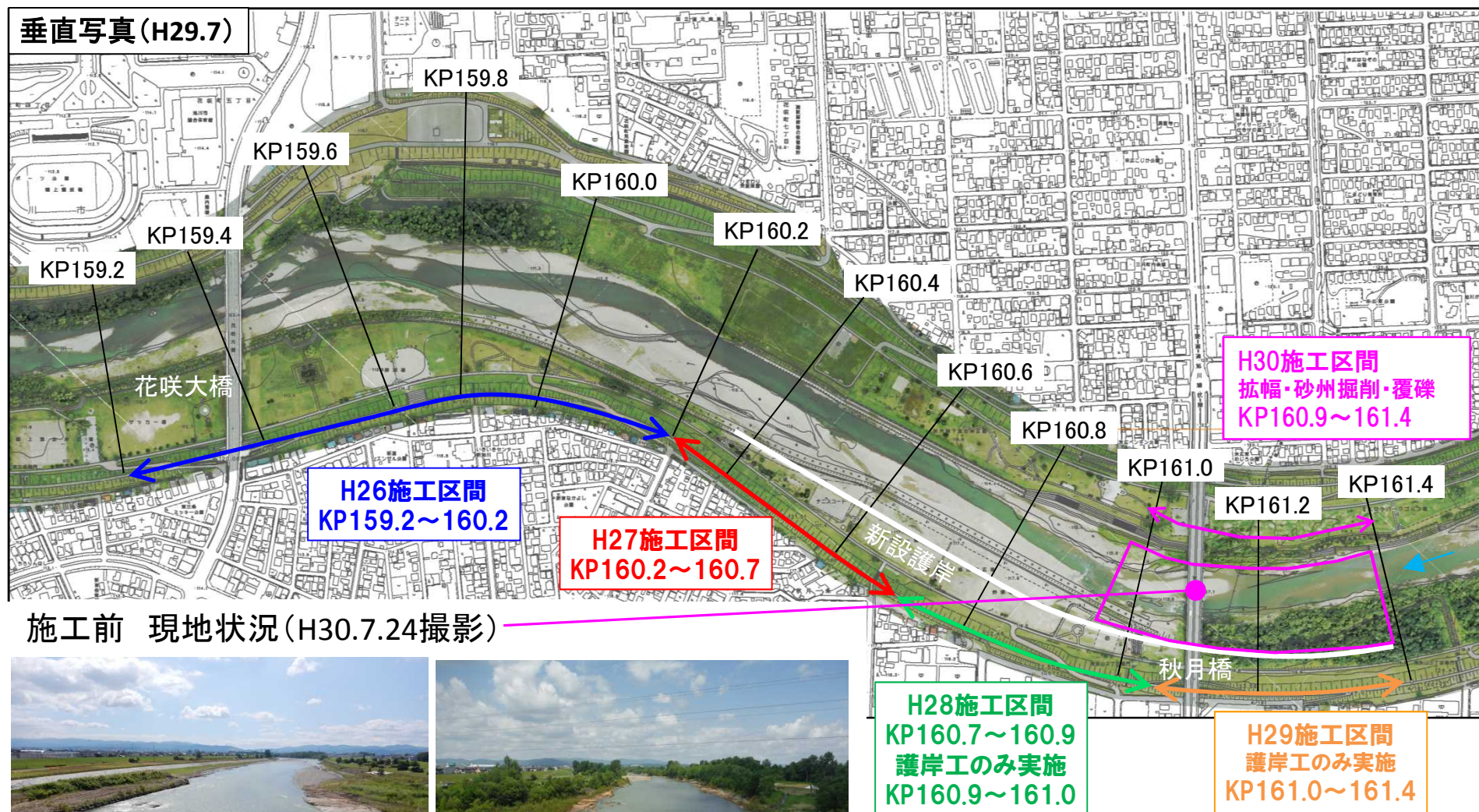
平成30年度施工について

1.平成26年度～平成30年度の施工内容

- 着手1年目である平成26年度は、KP159.2～160.2の区間において覆礫・砂州掘削を実施。
この区間は、上流の低水路拡幅区間と下流の現河床を、約1kmに渡ってすり付ける擦付区間。
- 2年目の平成27年度は、KP160.2～160.7の区間において施工を実施し、低水路拡幅に着手。
KP160.4～160.7における約300mの低水路拡幅を実施。
- 3年目の平成28年度は、KP160.7～160.9の区間において対策工を実施(KP160.9～161.0は護岸工のみ実施)し、平成27年度に引き続き左岸側の低水路拡幅を実施。
- 4年目の平成29年度は、KP161.0～161.4の区間左岸側において護岸工を実施。
- 5年目の平成30年度(今年度)は、KP160.9～161.4の区間において、拡幅・砂州掘削・覆礫を実施する。



2.平成30年度の施工内容



施工前 現地状況(H30.7.24撮影)

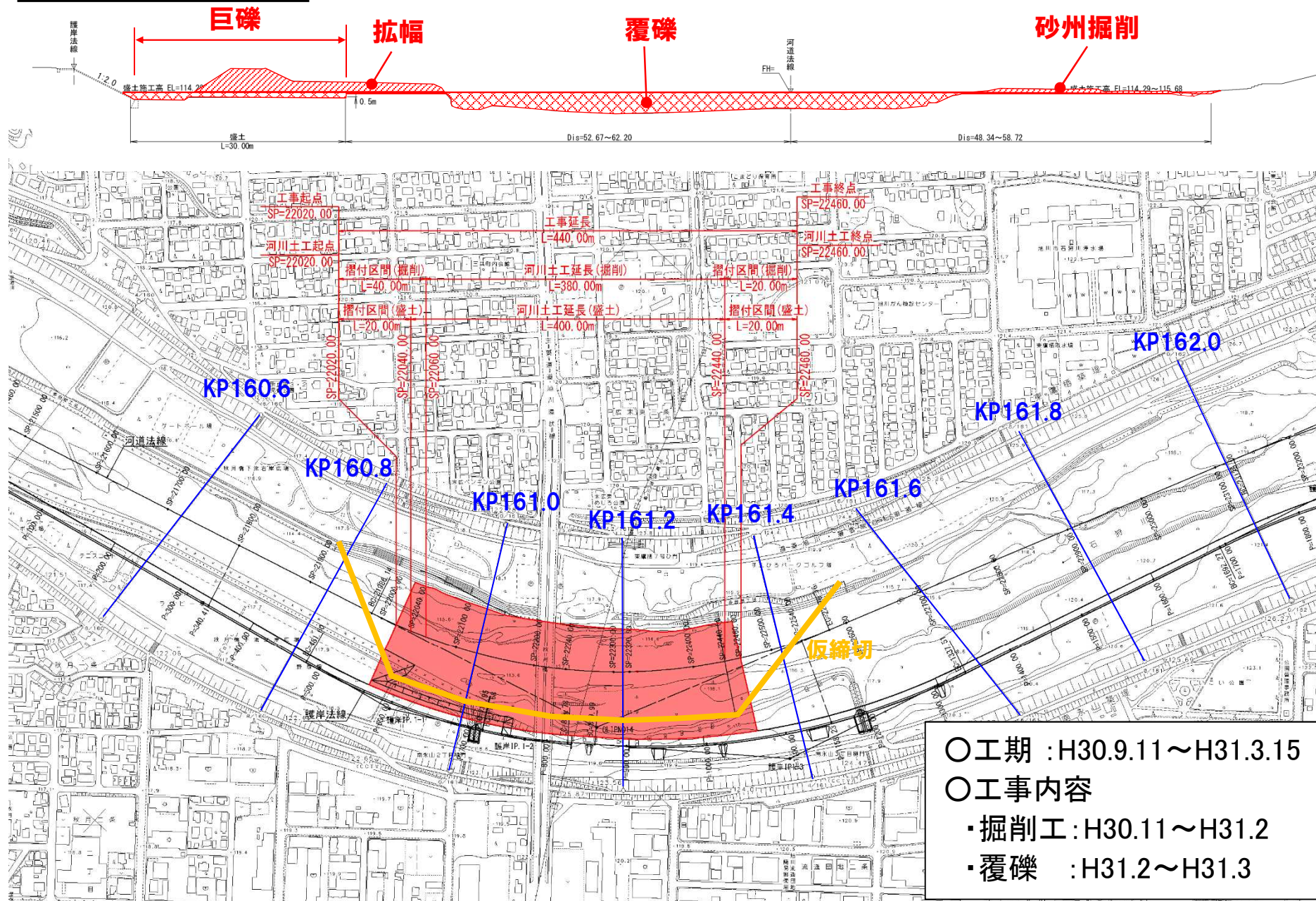


秋月橋から下流を望む



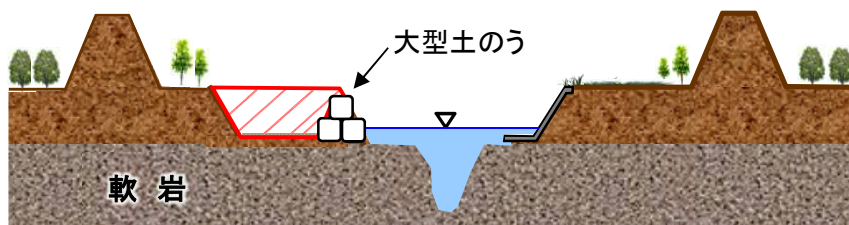
秋月橋から上流を望む

H30年度工事実施内容

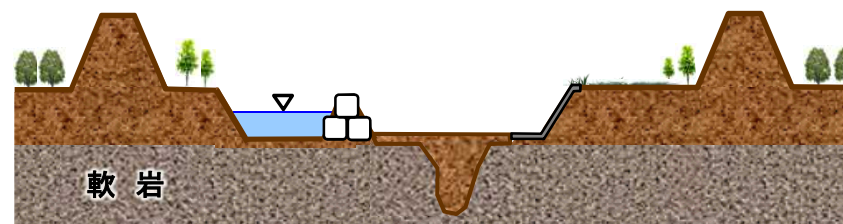


3.河床低下対策工事の施工手順

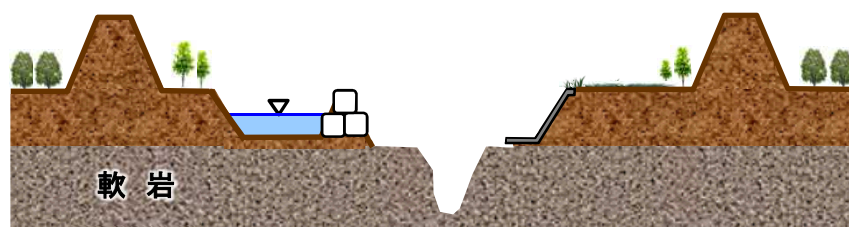
①大型土のうを設置して土砂掘削し、土砂を仮置する



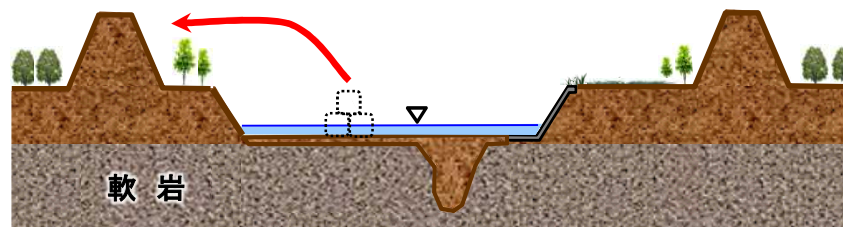
③仮置した掘削土砂を岩盤線+50cm程度で覆礫を実施



②上下流に仮締切を設置し、掘削箇所を仮水路として使用



④上下流の仮締切及び大型土のうを撤去し、全面通水する

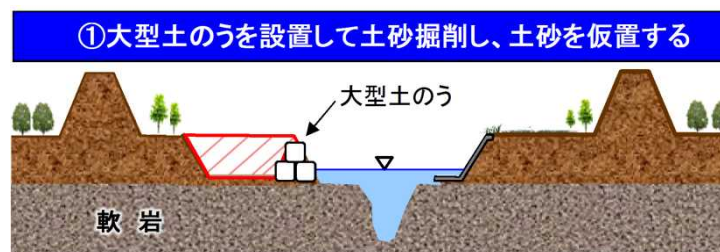


①大型土のうを設置して土砂掘削し、土砂を仮置する

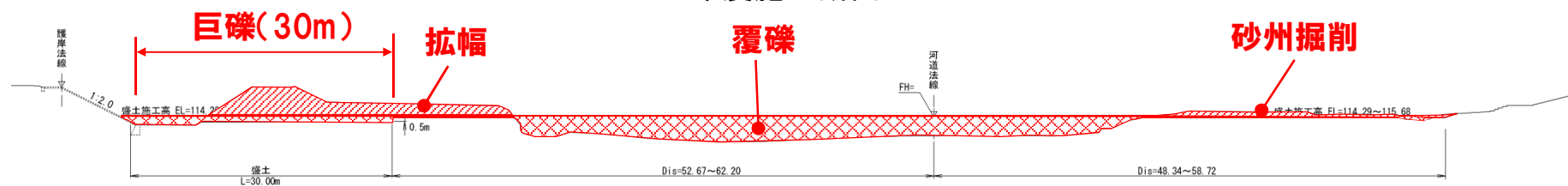
●施工前状況 (秋月橋下流区間)



●施工中状況 (秋月橋下流区間)



H30年度施工断面



巨礫材 (河岸から30m区間)



覆礫材



- ②上下流に仮締切を設置し、掘削箇所を仮水路として使用
- ③仮置した掘削土砂を岩盤線+50cm程度で覆礫を実施

